

コウノトリの観察マナー

(参考:兵庫県立コウノトリの郷公園作成「コウノトリ飛来・繁殖時の対応パンフレット」より)

1)静かに見守る

コウノトリを驚かさないようにやさしく静かに見守りましょう。コウノトリの観察・撮影等は、コウノトリが遠ざかったり、飛び立ったりしないように、150m以上(自動車の中からは100m以上)離れましょう。

2)地域に迷惑をかけることはやめる

コウノトリは集落周辺の水田、草地、河川、水路などで餌をとり、電柱や人工巣塔上に巣をつくります。無断で私有地や農地に立ち入らないようにしましょう。また、農道や林道に駐車して通行の妨げにならないようにしましょう。

3)繁殖期には巣に近づかない

2月から7月はコウノトリの繁殖期です。この時期に人が近づくと、巣づくりや子育てに悪影響を与えることがありますので、コウノトリの巣には近づかないようにしましょう。

4)餌をあげない

野外で生活するようになったコウノトリは、「野生動物」です。野生復帰の目標のひとつである、野外でのコウノトリの自活、存続可能な野生個体群の確立のためにも、餌やりをしないようにしましょう。

一度、野外のコウノトリに人間が餌を与えてしまうと、自分で餌を探さなくなるだけでなく、人間を攻撃したり、交通事故に遭ったり、「人間と動物の共通感染症」の媒介者となる恐れがあります。

※遊水地内ではイノシシも目撃されております。観察する際は十分ご注意ください。